

アドバンスト歯内療法学・歯周病学

責任者名：佐藤 秀一

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：講義

◆担当教員

佐藤 秀一(歯科保存学Ⅲ 教授)

武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)

清水 康平(歯科保存学Ⅱ 准教授)

勝呂 尚(歯科保存学Ⅱ 専任講師)

安川 拓也(歯科保存学Ⅱ 助教)

高森 一乗(小児歯科学 専任講師)

菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)

高山 忠裕(歯科保存学Ⅲ 准教授)

蓮池 聡(歯科保存学Ⅲ 専任講師)

間中 総一郎(歯科保存学Ⅲ 助教)

◆一般目標 (GIO)

前期講義から継続し、実習と関係しながら歯内治療および歯周治療を実践するために必要な基本的知識を修得する。

◆到達目標 (SBOs)

- ①歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。
- ②歯髄・根尖性歯周疾患の検査法、診断および治療方針を説明できる。
- ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療法の術式と適応症を説明できる。
- ④根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の治療法の術式と適応症を説明できる。
- ⑤歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。
- ⑥歯周病の病因と病態を説明できる。
- ⑦歯周病の検査法、診断および治療方針を説明できる。
- ⑧歯周治療の術式と適応症を説明できる。
- ⑨歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。

◆評価方法

平常試験2回(50%)と定期試験(50%)で評価する。平常試験についてはフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
武市 収	月曜日 17:00~18:00 歯科保存学Ⅱ教授室(本館6階)	takeichi.osamu@nihon-u.ac.jp 03-3219-8132	

清水 康平	月曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅱ研究室（本館6階）	shimizu.kouhei01@nihon-u.ac.jp 03-3219-8142	
勝呂 尚	月曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅱ研究室（本館6階）	suguro.hisashi@nihon-u.ac.jp 03-3219-8142	
安川 拓也	月曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅱ研究室（本館6階）	yasukawa.takuya@nihon-u.ac.jp 03-3219-8142	
高森 一乗	木曜日 17:00～18:00 小児歯科研究室（本館6階）	takamori.kazunori@nihon-u.ac.jp 03-3219-8106	
佐藤 秀一	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ教授室（本館6階）	satou.shuuichi@nihon-u.ac.jp 03-3219-8097	
菅野 直之	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ研究室（本館6階）	sugano.naoyuki@nihon-u.ac.jp 03-3219-8107	
高山 忠裕	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ研究室（本館6階）	takayama.tadahiro@nihon-u.ac.jp 03-3219-8107	
蓮池 聡	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ研究室（本館6階）	hasuike.akira@nihon-u.ac.jp 03-3219-8107	
間中 総一郎	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ研究室（本館6階）	manaka.souichirou@nihon-u.ac.jp 03-3219-8107	

◆授業の方法

毎回の範囲の教科書での予習を前提に、授業ではプリントの配布、スライドの提示により理解を深めてもらいます。授業後に定期的に復習をすることにより、知識の定着を図って下さい。

【実務経験】佐藤秀一ほか全教員：現在、在職している日本大学歯学部付属歯科病院での臨床経験も交えながら、本教科で学ぶ内容がどのように実際の診療に活かされるのか具体例を示していきたいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	小児歯科学 第5版	白川哲夫、飯沼光	医歯薬出版	2017

		生、福本敏編		
教科書 2	臨床歯周病学 第3版	村上伸也 ほか編	医歯薬出版	2020
教科書 3	エンドドンティックス 第6版	興地隆史 他編	永末書店	2022
教科書 4	歯科国試パーフェクトマスター歯周病学	高山忠裕 他	医歯薬出版株式会社	2020
参考書 1	歯内治療学第5版	勝海一郎 他	医歯薬出版株式会社	2020
参考書 3	歯周治療の指針 2015	日本歯周病学会編	医歯薬出版、日本歯周病学会ホームページよりダウンロード可	2016
プリント配付				

◆DP・CP

[DP3]コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP4]コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[CP3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

- ・必ず事前に教科書や参考書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。
- ・配付資料は関連する実習で使用することがあるので持参すること。
- ・授業内容は定期的に見直し、知識の定着を図ること。

◆準備学習時間

予習と復習に各々1時間を充てて知識の定着を図ること。

◆全学年を通しての関連教科

Introduction to Medical and Dental Topics（1学年前期）

運動器（2学年前期）

神経（2学年前期）

内臓（2学年前期）

脈管・感覚器（2学年前期）
 組織学（2学年前期）
 知の構築技法（2学年前期）
 口腔組織学（2学年後期）
 口腔組織実習（2学年後期）
 発生学（2学年後期）
 口腔生理学（2学年後期）
 口腔生化学（2学年後期）
 微生物の基本操作（3学年前期）
 歯科放射線学総論（3学年前期）
 口腔衛生学（3学年前期）
 Approaches to Basic Research（3学年前期）
 病原微生物と感染症（3学年後期）
 薬理学総論（3学年後期）
 衛生学実習（3学年後期）
 小児の歯科診療の基礎（3学年後期）
 臨床口腔病理（3学年後期）
 臨床口腔病理実習（3学年後期）
 炎症と臨床検査（3学年後期）
 歯科学統合演習Ⅳ（4学年通年）
 歯周病学（4学年前期）
 歯内療法学（4学年前期）
 歯内療法学・歯周病学実習Ⅰ（4学年前期）
 歯科放射線学各論（4学年前期）
 歯内療法学実習Ⅱ（4学年後期）
 歯周病学実習Ⅱ（4学年後期）
 専門総合特別講義Ⅲ（4学年後期）
 歯科学統合演習Ⅴ（5学年通年）
 臨床実習（5学年通年）
 POS型医療の構築（5学年前期）
 臨床推論の構築（5学年後期）
 臨床実習アドバンスト（6学年前期）
 症例演習（6学年前期）
 歯科学統合演習Ⅵa（6学年前期）
 専門総合特別講義Ⅰ（6学年前期）
 歯科学統合演習Ⅵb（6学年後期）
 専門総合特別講義Ⅱ（6学年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		8.26	3	【遠隔】 1. 歯髄・根尖性	・前期に学修した歯髄・根尖性歯周疾患の概要を総括して説明できる。	清水 康平	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患

				<p>歯周疾患の総括 (参1) pp.171-216</p> <p>2. 象牙質知覚過敏症</p> <p>1)病因と病態 2)診断と治療法 (参1) pp.3, 36</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・象牙質の知覚亢進に由来する本症の病因と病態，疫学を説明できる。 ・本症の発現は齶蝕の発現と機序を異にすることを理解し，その臨床症状の特徴や診査・診断法ならびに治療法を説明できる。 		の特徴と病因
2		9.2	3	<p>【遠隔】</p> <p>3. 外科的歯内療法</p> <p>1)根尖搔爬術 2)根尖切除術 3)その他外科的歯内療法 (教3) pp.231-243 (参1) pp.211-223</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外科的歯内療法は根管からの処置により疾患の消退が困難あるいは根管からの処置が不可能であるような症例に対して実施されることを説明できる。 ・外科的歯内療法の目的と意義，適応症例の選択法を説明できる。 ・外科的歯内療法の種類，根尖切除法，ヘミセクション，歯根分離法，再植術などの適応症と治療法の概要を説明できる。 	勝呂 尚	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
3		9.9	3	<p>【遠隔】</p> <p>4. 歯内治療における偶発症と不快事項</p> <p>1)露髄，穿孔 2)器具の破折・嚥下・吸引 3)皮下気腫 (教3) pp.246-248 (参1) pp.265-280</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯内療法治療中に発生しやすい偶発症と不快事項の種類，予防法と対処法について説明できる。 	勝呂 尚	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
4		9.16	3	<p>【遠隔】</p> <p>5. 歯内-歯周疾患 *土曜日(9/11)</p> <p>1)歯内-歯周疾患の概略 2)歯内-歯周疾患の治療法 (教3) pp.223-229 (参1) pp.239-247</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同一歯に歯内療法領域の疾患と辺縁性歯周疾患が存在した際の診査・診断および治療方針の立案について説明できる。 	安川 拓也	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療

5		9.30	3	<p>【遠隔】</p> <p>7. 根未完成歯の治療</p> <p>1)幼若永久歯の治療</p> <p>2)apexification と apexogenesis</p> <p>(教3) pp.218-221</p> <p>(参1) pp.136, 188, 319</p>	<p>・幼若永久歯，特に根尖未完成歯の歯髓疾患(歯髓炎)および根尖周囲歯周組織疾患(根尖性歯周炎)の診察，検査，診断ならびに治療法を説明できる。</p> <p>・未完成根尖を完成させる apexification と apexogenesis の概念と治療法を説明できる。</p>	高森 一乗	E-4-2)小児の歯科治療
6		10.14	3	<p>【遠隔】</p> <p>8. 根管治療のトピックス I</p> <p>1)Ni-Ti 製根管治療用器具と機器</p> <p>2)熱可塑性ガッタパーチャを用いた根管充填法 他</p> <p>(教1) pp.130-135, 161-166</p>	<p>・歯内療法関連のトピックスについて学ぶ。</p> <p>・超弾性根管治療法器具・機器とその応用法を理解できる。</p> <p>・加熱軟化ガッタパーチャを用いた垂直加圧根管充填法や他の新しい根管充填法を学ぶ。</p>	武市 収	E-3-3)-(2) 歯髓・根尖性歯周疾患の診断と治療
7		10.21	3	<p>【遠隔】</p> <p>9. 根管治療のトピックス II</p> <p>1)水酸化カルシウム・根管清掃法</p> <p>2)歯科用実体顕微鏡(マイクロスコープ)を用いた歯内療法</p> <p>(教1) pp. 141-143, 146-150, 232, 244-246</p>	<p>・歯内療法関連のトピックスについて学ぶ。</p> <p>・新しい根管治療用薬剤の概念と応用法を理解する。</p> <p>・マイクロエンドドンティックスの実際とその臨床的有用性を理解できる。</p>	武市 収	E-3-3)-(2) 歯髓・根尖性歯周疾患の診断と治療
8		10.28	3	<p>【遠隔】</p> <p>10. 歯周疾患の総括</p>	<p>・前期に学習した歯周疾患の概要，検査および診断法を総括して説明できる。</p>	高山 忠裕	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

				(教4)pp.2-9, 98-107, (参3)pp.8-17, 22-28			
		10.29	1	11. 平常試験 (理解度チェック) *土曜日 (10/29) 123 講義室および 133 講義室	・講義項目(第1回~7回)範囲について、試験形式(試験および解説)で理解度をチェックする。		E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 E-4-2)小児の歯科治療
9		11.4	3	【遠隔】 12. 歯周治療の総括 1)適応症 2)術式 (教4)pp.108-115 (参3)pp.18-21, 32-44	・前期に学習した歯周治療の概要および流れを総括して説明できる。 ・歯周基本治療, 口腔機能回復治療, メインテナンスおよびSPTを説明できる。	高山 忠裕	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
10		11.11	3	【遠隔】 13. 歯周外科治療の総括 (教4)pp.181-266 (参3)pp.49-57	・前期に学習した歯周外科治療の概要を総括して説明できる。 ・歯周外科治療の適応症と術式を説明できる。	高山 忠裕	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
11		11.18	3	【遠隔】 14. 特殊疾患1 (教2)pp.365-376	・歯周疾患のうち全身因子が関与している特殊な疾患について説明できる。 ・妊娠関連歯肉炎, 慢性剥離性歯肉炎, 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎, 白血病関連歯肉炎, HIV 関連歯周炎等の臨床所見や治療法について説明できる。	菅野 直之	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

12		11.25	3	<p>【遠隔】</p> <p>15. 特殊疾患 2 (教 2)pp.365-376</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周疾患のうち全身因子が関与している特殊な疾患について説明できる。 ・ 歯肉増殖症（薬物性歯肉増殖症，歯肉線維腫症）や遺伝疾患に伴う歯周炎（ダウン症候群，パピヨン・ルフェーブル症候群，周期性好中球減少症，低ホスファターゼ症）等の臨床所見や治療法について説明できる。 	菅野 直之	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因
13		12.2	3	<p>【遠隔】</p> <p>16. 歯周病の疫学 1) 歯周病に関する指数 2) 歯周病の罹患状況 (教 2)pp.86-94</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疫学の基本事項について説明できる。 ・ 歯周疾患の評価に関する指数について説明できる。 ・ 我が国における歯周病の有病状況の詳細について説明できる。 	間中 総一郎	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
14		12.9	3	<p>【遠隔】</p> <p>17. トピックス (教 2)pp.240-244, 336-344</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の歯周病学や治療の動向（レーザー，サイトカイン療法等）について説明できる。 	佐藤 秀一	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
15		12.10	1	<p>18. 平常試験（理解度チェック） * 土曜日（12/10） 123 講義室および 133 講義室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義項目第 8 回～14 回の歯周病学の範囲について，試験形式（試験および解説）で理解度をチェックする。 	高山 忠裕	<p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療</p> <p>E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療</p> <p>E-4-2) 小児の歯科治療</p> <p>B-4-1) 歯科疾</p>

							患の疫学
--	--	--	--	--	--	--	------

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
理解度チェック	998	佐藤 秀一
	1065	菅野 直之
	1151	武市 収
	1241	勝呂 尚
	1569	高山 忠裕
	1803	清水 康平

